

Smile Action
Tokachi

その笑顔が、十勝を動かしていく。

Smile Action From Town #トカチのチカラ

十勝には、自然・食・人々など、たくさんの“チカラ”があります。十勝毎日新聞社では、管内19市町村の活動と情熱にフィーチャーし、未来を担う人たちが取り組み、これからも残していきたい資源など、まちの魅力を徹底報道します。

大樹町のチカラ



Photo: 大樹町多目的航空公園



T A I K I

DATA

●人口

2021年7月末時点

5,432人

●町の木 カシワ

●町の花 コスモス

●町の鳥 ひばり

●町名の由来

アイヌ語で「タイキウシ」(森林が多いところの意)であるといわれている。

「Smile Action Tokachi」に、ご協賛いただいたみなさま

リフォームプランニング
あったかホーミング池田町ブドウ・ブドウ酒研究所
(北海道池田町 十勝ワイン)

時計・宝石・メガネ 石岡

ISHIBASHI

LEAD

NK GROUP

豊かな十勝の未来のために
帯広信用金庫

SUBARU 帯広スバル自動車株式会社

帯広日産

AKT/Oグループ
共成システム

釧路トヨタ自動車(株)

斉藤井出建設株式会社

乾杯を
もっとおいしく。
SAPPOROSANYO KONETSU
三洋興熱株式会社ひとの
ときを、
想う。 JT総合コンサルタント
株式会社 スーシャ

総合商研株式会社

Think globally Act locally
株式会社 土谷特殊農機具製作所

TKS 株式会社 東京機械製作所

東洋タクシー有限公司
Obihiro Toyo Taxi Company

十勝油運株式会社

TOKACHI
株式会社 十勝大福本舗鳥せい
チーエン

株式会社 トカチマ薬局



Trimble

NOBELS
ノベルスグループ

萩原建設工業株式会社



フクワ



社会医療法人 北斗



北洋銀行



北海道糖業株式会社

健康にアイデアを
meiji

UD TRUCKS UDトラックス道東株式会社

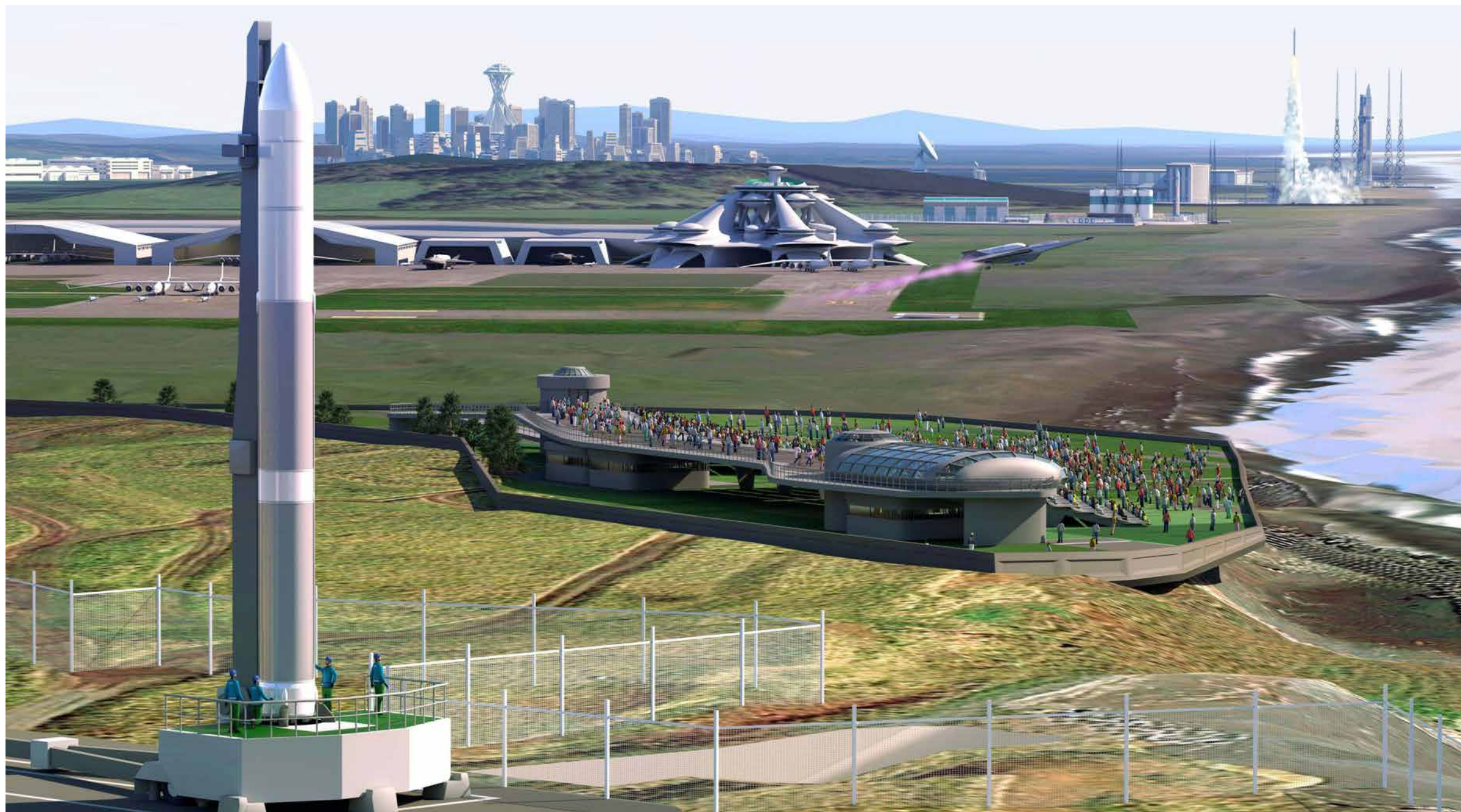
北海道のおいしさを、まっすぐ。
よつ葉

Rakuten 競馬



北の自然派 柳月

宇宙産業の母港 動きだす



宇宙関連産業が集積した北海道スペースポートの未来予想図

110兆円市場挑むHOSPPO

シリコンバレーといえは、世界的なIT企業や新興企業が数多く密集する米国サンフランシスコの地域。米国が経済復活の基盤となり、現在も大きな影響力を誇る。大樹町が抱えるのは、北海道の宇宙版シリコンバレーだ。アジア初の民間向け宇宙港「北海道スペースポート(HOSPPO)」が4月から本格稼働した。宇宙関連産業の集積により、町はもとより、十勝、道の活性化を促す。

東と南の海が開けている。ここが宇宙港の打ち上げに選んでいるのは、町は1988年から宇宙のまちづくりを進めてきた。

25年に大型射場
町には、2013年設
立の宇宙ベンチャー企業「
インタースペースロジクス
(IST)」が開業した。
町は、HOSPPOを主体
とする企業スペースマン
を設立した。ゼロからの人
工衛星ロケットの打ち上
げに向け、町内で7年ほど
の準備に成功した。ISTは
高度500mに超える小果
工衛星を運ぶロケット「
PRO(ゼロ)」(全長33
m、直径3.3m)の300kg
の23年打ち上げを目標
に開発を進めている。

IST連続成功弾みに

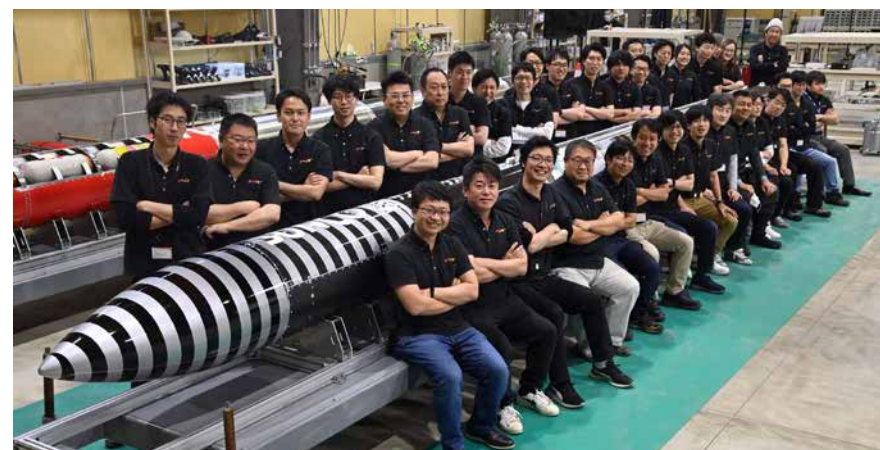
自然や産業町の「財産」次世代に

「大樹町」という響きからは、歴舟川や日高川、太田川、森林、牛、チヌ、砂金、宇宙、ミハレなどさまざまなイメージが湧いてくる。大樹町は、自然や産業の町として知られている。大樹町は、自然や産業の町として知られている。大樹町は、自然や産業の町として知られている。

酒森 正人

大樹町長

「大樹町」という響きからは、歴舟川や日高川、太田川、森林、牛、チヌ、砂金、宇宙、ミハレなどさまざまなイメージが湧いてくる。大樹町は、自然や産業の町として知られている。大樹町は、自然や産業の町として知られている。大樹町は、自然や産業の町として知られている。



改良版モモ7号機とIST社員ら。ISTは7月、モモの打ち上げに2機連続で成功した

「大樹町」という響きからは、歴舟川や日高川、太田川、森林、牛、チヌ、砂金、宇宙、ミハレなどさまざまなイメージが湧いてくる。大樹町は、自然や産業の町として知られている。大樹町は、自然や産業の町として知られている。大樹町は、自然や産業の町として知られている。



2023年に完成予定のL1射場。現射場に隣接している

対コロナ、早く安心届けたかった



新型コロナウイルスワクチンの接種を進めた町国保病院の岩淵院長

大樹町は人口3,300人。管内で最も早く65歳以上の一般高齢者を対象とした新型コロナウイルスワクチンの接種を開始した。他自治体の多くは、2回目接種分の確保が完了した段階で接種を始めた。大樹は、いかに早く接種を始めたか、という点で、町内では最も早く接種を始めた。大樹は、いかに早く接種を始めたか、という点で、町内では最も早く接種を始めた。

大樹漁協 養殖2年目



海中いけすでサクラマス養殖に取り組む高橋会長

サクラマス 今年こそ

2年目を迎えた旭岳漁港。今年、サクラマス養殖事業が本格化する。高橋会長は、今年こそサクラマスを多く出荷したいと意気込んでいる。高橋会長は、今年こそサクラマスを多く出荷したいと意気込んでいる。高橋会長は、今年こそサクラマスを多く出荷したいと意気込んでいる。

事業化研究会の高橋良典会長

昨秋しけで死滅 リベンジへ



サクラマスの中間測定を行う関係者

年終りには、サクラマスの中間測定を行う関係者。高橋会長は、今年こそサクラマスを多く出荷したいと意気込んでいる。高橋会長は、今年こそサクラマスを多く出荷したいと意気込んでいる。高橋会長は、今年こそサクラマスを多く出荷したいと意気込んでいる。

目の前に広がる
大海原と宇宙へと続く空を眺めながら、
ヨード泉をゆっくり、贅沢に。

太平洋を望みながら森の息吹を感じる・・・

晩成温泉

ヨードの湯
大樹町 晩成温泉

ばんせいおんせん

〒089-1882 大樹町宇成2 〇1558-7-8161

タオル・バスタオル
無料貸し出し

■営業時間
4月～9月
8:00～21:00(最終受付20:00)
10月～3月
9:00～21:00(最終受付20:00)

大人/500円 中学生300円 小学生200円
※未就学児は無料、70歳以上で大樹町在住の方は300円
[指定管理者/ヤスダリネンサプライズ株式会社]

泉質/ナトリウム-塩化物冷鉱泉(高張性・弱アルカリ性・冷鉱泉)
適応症/きずきず、やけど、慢性皮膚炎、虚脱児童、慢性婦人病ほか
温泉大浴場/男女別(サウナ・ジャクuzzi風呂・高温浴槽)

地元の美味しい特産品と
夢いっぱいのスペースグッズが大集合!

大樹から宇宙へ「大樹町」
道の駅 コスモール大樹

大樹町西本通98番地(国道236号沿い) ☎01558-6-5220

■特産品コーナー ■ジョッキングセンター
大樹町観光協会 ☎01558-6-2114 大樹町/年末年始
道の駅コスモール大樹 ☎01558-6-5220 営業時間/9:00～17:30 営業時間/9:00～20:00

冷やしどら
大樹町観光協会

大樹町産 香川はざんだ
ワマンパルチーゼ
雪割アイス

特産品
大樹町産 香川はざんだ
ワマンパルチーゼ
雪割アイス

砂金掘り体験
大樹町観光協会
道の駅コスモール大樹

スペース
グッズ

バスケップ
ドロッパー
にしおお取組

大樹町から宇宙へ
大樹町産 香川はざんだ
ワマンパルチーゼ
雪割アイス

大樹町が取り組んでいる「航空宇宙産業基地構想」
にちなんで「宇宙関連グッズ」をとりそろえています。
JAXA・宇宙航空がチャグチャも要チェック!

「ねじのロケット MOMO 7号機」
キーホルダー好評販売中!
1個 500円



酪農のまち大樹町には酪農家が営むチーズ工房が複数あり、それぞれに味わい深い個性があります。また大手乳業メーカーのチーズ工場も地域産業をリードしてきました。大樹物語香りをはさんだカマンベールチーズは、雪印メグミルク大樹工場のオリジナルで、バジルとブラックペッパーの香りが豊かな逸品。道の駅限定販売の人気商品です。



大樹町は酪農だけではなく漁業も盛んなまち。サケ、シシャモツ、カンナなどの漁が行われています。そんな大樹の特色を生かして誕生したのが「チーズとサーモン秋サケ」を組み合わせた天ぷら御膳の「大樹チーズサーモン丼」。「サーモン丼」の愛称で地元民にも愛され、晩成温泉こむぎ食堂など町内の飲食店5店舗で提供。是非ご賞味を！



かつてゴールドラッシュに沸いた歴舟川上流には、今も砂金が眠っています。砂の中から砂金を見つけたときの感動は格別で、大人も子どもも夢中になれるアクティビティとして大人気。道の駅で道具を貸し出しているほか、事前予約にてインストラクターによる指導も受けられます。問い合わせは町企画商工課(01558・6・2114)まで。

みてコレ!

イタリアンなカマンベールは道の駅コスモール大樹限定品

みてコレ!

大樹町だから生まれたご当地グルメ
大樹チーズサーモン丼

みてコレ!

一攫千金の夢を追う!?
歴舟川での砂金掘り体験

とっておきの魅力教えます!!

みてコレ!

十勝
わがまち
自慢



野村智貴(のむら・ともたか、写真左)

1998(平成10)年、恵庭市出身。北海道教育大学岩見沢校のスポーツ文化専攻アウトドアライフコースで野外教育を学んだ経験を生かし、南十勝長期宿泊体験交流協議会(STEP)の事務局員として今年4月に着任。子どもたちには「ノムさん」と呼ばれている。

長谷川彩(はせがわ・さい、写真中央)

1988(昭和63)年、東京生まれ横浜育ち。学生のころから北海道移住を意識し、機が熟し昨年9月に着任。本に関わる仕事に就いていた経験を生かし、道の駅内に「まちなかライブラリー」を開設。また、WEBの「宇宙のまち大樹町note」の企画や編集を担当。

牛島寛尊(うしじま・ひろたか、写真右)

1988(昭和63)年、帯広出身。道内でフィッシングガイドやネイチャーガイドを務め、今年5月に着任。将来的には環境を生かしたツアーの提供や情報発信で地域に貢献することを目指す。地域を知るために積極的に外へ出て、人とつながることが目の目標。

地域おこし協力隊の募集形態には、活動内容が定められた「ミッション型」と、自ら課題を見つけ解決していく「フリーミッション型」があります。大樹町の3人のうち2人は後者で、自身の長所を生かし地域の中で何ができるのか、手探りながらも活動域を拡げています。

その3人にまちの自慢を聞くと、「人と自然」と口をそろえます。山があつて海もあり、畑作も酪畜も漁業も盛ん。そして、清らかな流れの歴舟川。上流部の坂下仙境には豊かな森が茂り、カムイコタン公園キャンプ場では砂金掘り体験ができます。下流域の湿原や湖沼では鮮やかな花が咲き、鳥が舞い、竪穴住居跡やトーチカなど歴史を伝える要素も多く存在。牛島さんの言葉を借りれば「ロマンの川」と言えます。そうした自然の恩恵を受け、地域の人は暮らしてきました。定期的に川の整備を行う「歴舟川の清流を守る会」の人たち、地域のフィールドを最大限に活かした野外活動で子どもたちに生きる力を教える人たち、宇宙への夢を追い続ける人たち、野の花に詳しく移住者をやさしく受け入れるカフェ店主、そして、協力隊を卒業し自分の道を歩んでいる先輩たち。「移住から間もなく1年。人に恵まれたからこそ新しい知識が身につく、いろいろな体験ができている。それが、この大樹町の魅力です」と長谷川さん。その言葉に牛島さんと野村さんも大きく頷きます。

豊かな自然と魅力的な人に恵まれて

妥協なきモノづくりへの挑戦!

特定建設業・一級建築士事務所

F/LEAD
OVERALL DEVELOPMENT

株式会社エフリード

代表取締役 藤江 伸二

〈本社〉

〒089-2133
広尾郡大樹町仲通27番地
TEL01558-6-2474 FAX01558-6-4819

〈札幌本店〉

〒063-0803
札幌市西区二十四軒3条4丁目6-9-3F
TEL011-622-1071 FAX011-622-1072

